

令和 7 年 6 月 2 0 日

甲府市議会議長 長 沼 達 彦 様

経済建設委員長 川 崎 靖

所 管 事 務 調 査 報 告 書

経済建設委員会におきまして、甲府市議会基本条例第 18 条第 4 項に基づき、所管事務調査及び政策研究のテーマを定め、調査・研究を進めてまいりました経過と結果について御報告いたします。

令和 6 年 7 月 23 日の委員会におきまして、本市には日本遺産に認定された御岳昇仙峡や信玄公など歴史に関する魅力ある観光資源があるにもかかわらず、観光入込客数はコロナ禍を経て回復傾向にあるものの伸び悩みの傾向にあり、本市へ誘客する取組が必要と捉え、今期の調査・研究テーマを「観光振興について」と決定いたしました。

同年 8 月 22 日の委員会におきまして、当局から第 3 次甲府市観光振興基本計画の概要のほか、現在取り組んでいる主な観光振興施策についての説明を受け、質疑を行い、本市の観光施策について理解を深めました。

同年 11 月 5 日から 7 日までの日程で、福井県鯖江市、越前市、京都府宮津市、舞鶴市への行政視察を実施し、鯖江市のめがねフェスなど地場産業を活かした取組、鯖江市、越前市、越前町の伝統工芸の産地を中心とした産業観光イベント、フィルムコミッションなどを活用した観光への取組について調査を行いました。

同年 12 月 19 日には「観光振興について」をテーマに昇仙峡観光協会の方々と市民と議会の交流会を行い、「観光客がきれいだと思ってもらえる昇仙峡の景観維持に力添えがあればありがたい」、「昇仙峡に時間をかけながら、新たなスポットを 10 か所くらい作っていただきたい。」、「若い世代の新たな知恵や工夫を取り入れ、観光地としての発展につなげていくことが必要である」など、貴重なご意見をいただきました。

令和 7 年 1 月 30 日の委員会におきましては、市民と議会の交流会を踏まえた委員間討議を行う中で、「昇仙峡等の観光資源をどのように活用していくか考えていく必要があるのではないか」、「アニメの聖地として観光へとつなげている他市の事例は本市でも参考になるのではないか」、「鯖江市での地場産業を PR するため

様々な場所にモニュメントや看板を設置し定着させた取組は本市でも地場産業をPRするための参考になるのではないかと、「SNSで発信したくなるようなものをつくるのが、若者世代や外国人が本市を訪れるきっかけになり、それが観光へとつながるのではないかと」といった意見がありました。

同年2月20日及び4月24日の委員会におきましては、これまでの活動や議論を踏まえた委員間討議において、観光振興について、「既存の観光資源の磨き上げ（昇仙峡、信玄の湯湯村温泉）」と「新しい観光資源の活用」をしていくことが肝要であるとの認識を委員間で共有いたしました。

同年5月21日の委員会では、既存の観光資源である昇仙峡、信玄の湯湯村温泉の今後の取組として、観光地へのアクセス整備をしていくこと、昇仙峡の山頂展望台から眺める自然景観やアクティビティを周知していくこと、新しい観光資源の活用については、効果的な情報発信が必要である等の意見があったところであります。

経済建設委員会といたしましては、「既存の観光資源の磨き上げ」として、ターゲットを絞った集客に取り組むことや昇仙峡周辺のスポーツアクティビティや武田の杜にも展望台等の整備計画があることから、湯村温泉宿泊を合わせた連携事業を企画していくこと、「新しい観光資源の活用」として、甲府市などを舞台としたアニメ「mono」が放映されていることから、新たな観光スポットとしてPRするアニメツーリズム企画や既存の観光資源とのコラボ企画などの取組を行うこと、これらの取組を行っていく上でSNSを活用し観光資源を積極的に情報発信していくこと、多言語対応の案内の整備をすること。

以上の取組が観光客を本市へ誘客するために必要であると考えます。

当局におかれましては、自然・歴史・文化が人を呼び、多くの観光客が行き交い、賑わいのある魅力ある観光地づくりのために、本調査・研究の結果を参考としていただきながら、関係機関、地域の方々と協力し知恵を出し合い一層推進されることを期待し、報告いたします。